

空の気分をうつすイエ

空を受ける

空を受ける大きな1枚の屋根の上で、

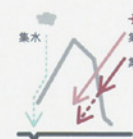
SOLAMOは、空の力を受け止める
WINDOWは、空の光を受け入れる

本提案では、空からの恵みを異なった方法で享受する、この二つの要素を同時にデザインします。

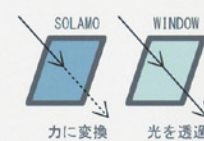
これまでの集熱パネルの在り方は、屋根の上に見えないようにひっそりと置かれたり、とってつけたかのように無造作に置かれたりと、建築のデザイン上からは隔離された扱いを受けてきました。

ここでは、優れた意匠性をもつSOLAMOを活かし、WINDOWと対を成すようにデザインすることで、追いやられてきた集熱パネルを外観上の重要なデザイン要素として、積極的に取り入れていきます。

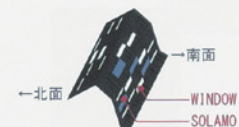
■空を受ける1枚の屋根



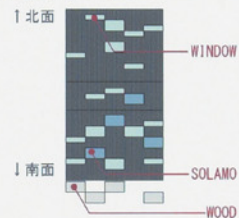
■SOLAMO/受け止める
■WINDOW/受け入れる



■SOLAMOとWINDOWの一体的デザイン



■屋根展開ダイアグラム

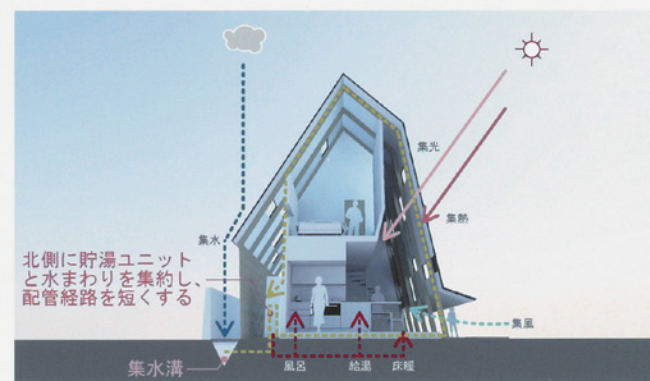


空と過ごす

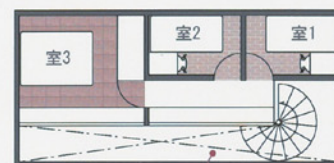
この家は、大きな1枚の屋根に包まれています。

空を、受け止めるSOLAMO/受け入れるWINDOWをその屋根面に散在させることで、降り注いでくる力や光と全面で関わり合っていく屋根となります。

また、この屋根は集水装置にもなっており、降り注ぐ雨も、この1枚の屋根に舞落ちる事で、軒下の集水溝に集められます。将来的に雨水と太陽熱利用ガス温熱システムがうまく連携できれば、雨水を暖め、躯体内に循環させる事で、輻射暖房として、温度ムラの少なく、気流による不快感の少ない室内環境とすることが可能かもしれません。晴れの日も雨の日もこの屋根が、いつも「空と一緒に過ごす家」となることを目指しています。

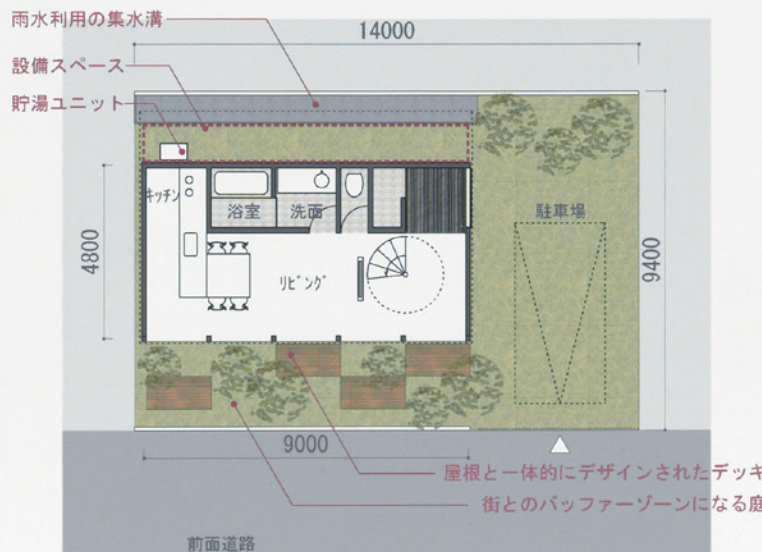


■断面パース



■2F PLAN

リビングを見下ろす吹抜



■1F PLAN

屋根と一体的にデザインされたデッキ
街とのバッファゾーンになる庭

建築面積: 65.0㎡ 1F: 43.2㎡
建蔽率: 50.0% 2F: 22.8㎡
容積率: 50.1% 延床面積: 66.0㎡

